

NO. 47

令和5年1月15日発行



こころ

特定非営利活動法人

指定就労継続支援B型事業所

阿波就労支援センターアスカ

〒771-1702 徳島県阿波市阿波町久原36番地2

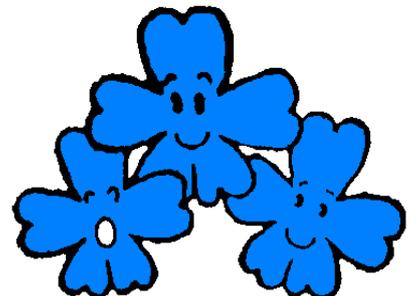
電話・0883(35)6020

FAX・0883(26)5560

メールアドレス asuka@npo-asuka.jp

アスカホームページアドレス

<http://npo-asuka.jp>



理事長 笠井 光顯

健康について

私事ですが、「吾がみち」という小冊子を作り
その中の一つに
いまやらねばいつできる
おれがやらねばたれがやる
おなじやるならよろこんでやると言うのがあります。

思いついたら即実行（行動）に移す
人に頼らず自分から進んで行動する
何事も自発的に喜んでやることで、精神的緊張（ストレス）が溜ま
らないので健康な身体になる。

アスカご利用の皆様、令和 5 年も健康で楽しい毎日でありますよう
頑張りましょう。

末筆になりましたが、アスカ事業所にご支援、ご協力を頂いている
皆様方には、旧年中は色々とお世話になり有難うございました。
本年も旧年中同様にご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げ
ます。

活動報告

2022年

- 7月6日 従事者研修「クレーム対応力強化セミナー」
8月3日 従事者研修「記録の書き方」
8月21日 「ぼくのなかの夜と朝」映画鑑賞
8月24日 従事者研修「共感を得ることば講座」
9月20日 「第4期工賃向上研修会」就労支援協議会
～ 21日 //
- 9月28日 従事者研修「チームリーダーのためのステップアップ」
10月26日 //
- 10月13日 従事者研修「障がいのある人の自己決定とその支援」
10月14日 はぴエコ会議
10月20日 国府支援学校就労体験受け入れ
～ 21日 //
- 10月23日 手をつなぐ育成会中四国大会 オンライン参加
10月25日 東部農福連携等意識啓発セミナー 参加
10月29日 遠足（大谷焼絵付け体験・バーベキュー）
11月8日 従事者研修「メンタルヘルス」
11月12日 餅つき大会 阿波地区民生委員児童委員協議会の皆さんと交流
12月3日 お楽しみ会 カラオケ 理事長宅
12月8日 防犯訓練実施
12月20日 給食会議
12月28日 大掃除



2022年11月12日（土）

毎年恒例、阿波地区民生委員・児童委員協議会の皆さんと 

ペタン！ペタン！ついた餅を丸餅にきれいに仕上げました。





晴れますように
願いを込めて! 第2



日時: 10月29日(土)
場所: 大谷焼窯元陶芸会館梅里窯
昼食: アスカ第2作業所駐車場にてバーベキュー

絵付け体験

バーベキュー



中央競馬より助成金を頂きカーポートを設置、農産物出荷作業を行う予定です。
作業風景は次号でお伝えできればと思っております。



訓練

12月8日(木)

～阿波吉野川警察署生活安全課人身安全策係長を招き防犯訓練を行いました～

皆さんの安全確保を第一に考え、防犯対策として「さすまた」を設置しました。
今日は実際に不審者が事業所に来た時のことを想定し「さすまた」の正しい使い方とコツを学んだのち「さすまた」を使っての実技訓練を行いました。

「さすまた」は通報してから警察が到着するまでの約10分間の時間稼ぎ

不審者発見

- (1) 迷わず110番通報
- (2) 利用者を逃がす(阿波社協と連携)
- (3) 「さすまた」を使用する場合は必ず2人で立ち向かう
- (4) 声を出しながら向かう

職員が1人の場合

- (1) 玄関に鍵をかけ、なるべく中に侵入させない
- (2) 迷わず110番
- (3) 阿波社協、第2職員へ応援要請
- (4) 警察が到着するまで不審者を観察



不審者?変だなと思ったら躊躇なく連絡を!

皆さん真剣に聞き入っていました。



最小限の被害で抑えるためには、避難することが一番重要になり、不審者と対峙することよりもまずは110番通報、ルートの確保、その場を離れることを考える事が大切と学びました。「さすまた」を使う機会がないことが一番ですが、万が一に備え、自分がどのように動けばいいのかシミュレーションしていきたいと思えます。

研修報告書

事務局長 新居 淳子

以下の通り研修の報告をします。

1. 研修名

「ぼくのなかの夜と朝」映画鑑賞

日時

令和4年8月21日（日）

場所

藍住町総合文化ホール

参加者

細谷 新居

研修内容

柳澤嘉男監督ドキュメンタリー映画第3回

映画はいきなり泣き叫ぶ声から始まります。小学校1～3年生くらいの男子の足に装具を付けようとして、大人の男性が全体重をかけて筋肉が萎縮して曲がった膝を伸ばそうと必死になっています。「痛い」「痛い」「もう付けたくない」「これを付けないと歩けないぞ」「もう少しで終わるから我慢して」と怒号が飛び交っています。

暫くすると映像は、装具を付けた少年たちの歩行訓練の様子が映し出されます。

この映画は5部作となっており、今回は3回目で、残り2部作あります。

病院内では学校や働く場所があり「この子たちは、自分がもう数年しか生きられないことを知っています」と映画の中で説明があり、胸が締め付けられ落ち込みました。

柳澤監督と同じ思いを持つもう一人の人物、近藤文雄先生です。

近藤先生は、徳島市入田町出身で太陽と緑の会代表杉浦さんの師匠となられる方です。

「病気は治せなくても子供たちに教育を」の精神で病院内に学校を作られました。

進行性筋委縮症（筋ジストロフィー症）は、現在では遺伝子レベルの治療が始まり「不治の病」ではありません。

私は、このような暗い歴史があったことを忘れてはいけない、残り2部作もしっかり観ようと心に刻みました。

記録の書き方研修報告書

サービス管理責任者 細谷 千保

受講した記録の書き方研修に関する報告をいたします。

記

1. 研修の名称：記録の書き方研修
2. 研修場所：アスカ相談室 zoom
3. 研修日時：2022年8月3日 13:30～15:30
4. 研修講師：岡本 匡弘氏
5. 研修内容
 - 5-1 記録の意義
 - 5-2 記録の目的
 - 5-3 記録の書き方の原則
 - 5-4 よい記録を書く方法
 - 5-5 記録の保管
 - 5-6 研修での習得事項および感想

今回の研修を通じて、記録の書き方を学びました。

記録については、言葉の使い方に気をつけていたつもりでしたが、誤って覚えていたり重要なポイントを見落としていたりすることに気付くなど、非常に得るものが多い研修でした。

グループワークでは「伝わる・プラスのワードへの言い換え」を行い、NGワードを言い換える事の難しさを実感しました。

意識すること

- ① 共通認識が図れないワードは使わない
- ② 上から目線のワードは使わない
- ③ マイナス表現のワードは使わない

講師から学んだ事をOJT・事業所内研修でお伝えできればと思っております。最後に講師の方がおっしゃった「日々の生活で利用者さんに対して関わる時には意識的に5感を働かせて下さい」という言葉が印象的でした。

(視覚・聴覚・臭覚・味覚・触覚)

利用者さんとの生活で何を感じたか、意識しないと見えてこない部分です。

利用者さんの言葉や事実は具体的に(5W1H)いつ、誰が振り返って見ても分かるように事実と判断(主観)は違うことをポイントとして、今後の記録(支援日誌)に活かしていきたいと思えます。

以上

2023

令和5年1月5日(木)

賀茂神社にて



編集

だより

会員の皆さま明けましておめでとうございます。
今年も利用者さんの元気な挨拶で新しい年が
スタートしました。
利用者さんにとって、新しい年が健康で安全に
笑顔があふれる年になりますようにとお祈りを
して参りました。
今年もよろしくお願ひ致します。

chiho・Hosotani

